

古事記編纂1300年を迎えて

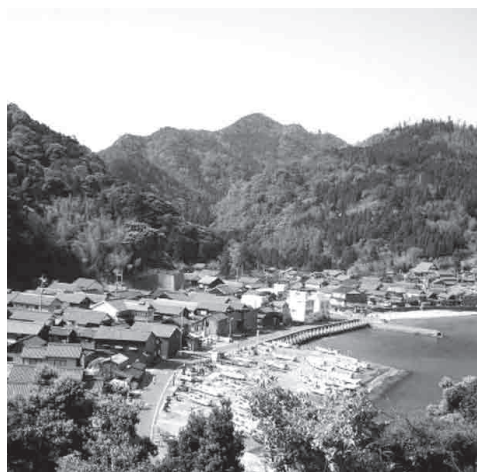
～出雲の魅力再発見・一人ひとりがおもてなし～

出雲市では平成24年の古事記編纂1300年を記念して開催された「神話博しまね」や、平成25年の出雲大社「平成の大遷宮」を契機に、出雲の魅力を再発見し、訪れる方を「おもてなし」の心でお迎えする観光振興に取り組んでいます。このコーナーでは、地域で取り組むおもてなし・まちづくりを紹介します。

今月号では、大社町鵜鷺地区から出雲の魅力と地域の活動を紹介します。

北前船の船宿や鉾山で栄えた鵜鷺地区

鵜鷺地区は、鵜峠と鷺浦からなり、山と海に囲まれた自然豊かな地区です。



古くは、江戸時代から明治時代に活躍した北前船の寄港地として、多くの船宿が営業して栄えました。

また、鷺銅山と鵜峠鉾山も地域経済をにぎわせました。石見銀山と同様の灰吹き法による銀精錬が行われた歴史ある鷺銅山は、室町時代にはすでに開発され、明治時

代に採掘のピークがあつたとされています。一方、鵜峠鉾山は、明治時代に銅が採掘され、昭和になると、閉山する昭和45年まで石膏が採掘されました。

過疎化と少子高齢化が進む地区の活性化を目指す「鵜鷺げんきな会」

このようにかつては栄えた鵜鷺地区ですが、昭和25年には1,700人を超えていた人口は現在およそ250人まで減少し、地区の家屋の半分が空き家となりました。また、高齢化率も約60%と高くなっています。

この状況に危機感を抱いた地元住民たちが、平成17年11月に、地域活性化に向けて「鵜鷺げんきな会」を立ち上げました。会は、鵜鷺コミュニティセンターの支援を受けながら、地域活性化に向けて活動をしています。

会ではまず、地区の人口動態、空き家、農林水産業について調査をして、課題を整理しました。そして空き家を活用するため、会で4軒の空き家を借りて改修し、宿泊施設として安価で貸し出しを始めました。

さらに今年になってからも、古民家を活用して、新たな民泊の宿が誕生しました。

ほかに、鵜鷺げんきな会の支援により、カフェやギャラリーがオープンしました。

また、手間をかけて塩を作り販売しています。この塩は、船で沖まで出て水深5メートルほどの海水をくみ上げ、釜で炊き上げてからにがりを取り取ったあと乾燥させて作ります。自然塩なので一般的な食塩にくらべてミネラルを多く含む、まろやかな塩です。アラメを煮詰めたエキスを混ぜて作った藻塩が人気です。

予約すれば、塩炊き体験をすることもできます。

会ではこのほかに、鷺浦の海の遊覧や、海ホタル（夜光虫）やカジカガエルの鑑賞会、夏の子どもキャンプといったイベントも開催しています。

他地域との連携、交流

会は、安来や奥出雲など県内の他地域と連携するほか、都会や海外との交流も積極的に行っており、鵜鷺の自然や人に魅せられて移住してきた人たちもいます。

また、今年は「うさぎの楽校」を、全5回のプログラムで実施し、地域内外からの参加者が、地元の方々に先生として、まちづくり、海、食、森に関する体験をし

たり講義を受けたりしました。最終回は参加者と地元の方々が3班に分かれ、総まとめとして鵜鷺地区のまちづくりについて熱く語り合いました。

各班からは、自然農法や漁業が体験できる田舎ツーリズムや、よそいきでないおもてなしなど、具体的なプランが発表されました。

鵜鷺地区はこのように外からの力も借りながら、持続可能な地域を目指し、地域活性化に向けた取り組みを続けています。



塩炊き体験

日時：毎月第2、第4火曜日の
9時から2時間程度
場所：鵜鷺コミュニティセンター
料金：500円
※5日前までに要予約

おたずね
鵜鷺げんきな会
(鵜鷺コミュニティセンター内)
☎ 53-5635

大好き☆出雲! 高校生の取組から!! (前編)

次代を担う高校生の“出雲”を愛する活動を紹介します。地域とかかわる高校生の取組は、心強く、私たちにさまざまな出雲の魅力あらためて教えてくれます。

◆ぜんざいを通して、ふるさと島根・出雲をPR(出雲商業高校)



ぜんざいのふるまい
縁結びスクエアにて

「ぜんざい発祥の地」と言われる「出雲」。ローマ字表記した「ZENSAI」のZの中にあるのは、「縁(EN)」と「愛(AI)」。私たちは、縁結びのまちから、「縁と愛」をテーマに、全国に向けて、ふるさと島根・出雲をPRしています。

ぜんざいスイーツ「縁福」



3年生の課題研究「商品開発」グループは、ぜんざいの振る舞い・販売や、ぜんざいスイーツ「縁福」などの開発を通じ、また、「商業美術」グループは、お土産品として、出雲神話をモチーフにした円形トランプ「縁札」や、「神和てぬぐい」のデザインも手掛け、学びの中で「出雲」の魅力を発信しています。

◆「一式飾」と「愛宕山」。平田のまちの大切なものに触れました。(平田高校)

校歌を歌い、学校愛から郷土愛へ。玄関では、「神話博しまね」会場でも披露した一式飾「ヤマタノオロチ退治」がお迎えします。「平田一式飾保存会」にお手伝いいただき、一式飾の由来や、出雲神話のお話伺いながら、生徒が地域を学び、作成したものです。



「愛宕山」での植樹の様子

もうひとつの平田のまちのシンボル「愛宕山」。高校があり、まちを一望できるこの山の20年後の美しい春に思いを馳せ、「愛宕山公園を美しくする会」や地域の方々とともに、刈取ったモウソウ竹を急斜面から撤去し、桜、ツツジの苗を植えました。



玄関前の一式飾
「ヤマタノオロチ退治」

◆「郷土に思いをいたし」教育目標の最初にうたわれている言葉です。(大社高校)

「ふるさとを知ろう」と題した学習(2年生)の講師は、大社地域の歴史や産業についてお話いただく地元の方です。今年度は、「姫神朗読部」をお招きして、「出雲神話☆語る会」を開催しました。また、「大土地神楽」(国指定無形民俗文化財)に魅せられ遠く市外から移住し、神楽保存会に入門された舞踊家の方からは、外から見た出雲の魅力を伺い、「神門通りフィールドワーク」では、神門通りの活性化について、出雲商工会やお店の方とお話することができました。1年生は、「職業人講話」をしていただき、地域のしごとを目を向けるとともに、将来の夢に向けた高校生活の充実を図っています。

～出雲神話☆語る会～



「ふるさとを知ろう」講演

◆優れた技術がたくさんある“出雲”の地で、次代を担う力が日々進歩しています。(出雲工業高校)



～出雲産業フェア～

『出雲産業フェア 2012』に参加し、来場者投票による『あなたが選ぶ No.1 ブース選挙』で、みごと最優秀賞を受賞しました。今年の展示は、各科が知恵を絞り、子どもたちにも“ものづくり”を楽しんでもらうこと、その先にある、技術が作りあげる環境と調和のとれた生活の一端を見せたいと工夫を凝らしました。中でも、自作ソーラーカーの試乗は人気で、フェアを盛りあげました。



自作ソーラーカーの
試乗会

今年一年の感謝をこめて、年賀状に「大好き☆出雲!」のロゴマークを入れよう。大好き☆出雲! ホームページからダウンロードできます。

大好き☆出雲! バッジ 出雲ブランド室で発売中(1個150円) バッジをつけて一緒に「出雲」を盛りあげましょう!

おたずね/出雲ブランド化推進市民委員会(大好き☆出雲!倶楽部)事務局 <http://www.daisuki-izumo.jp/> 出雲ブランド室 ☎21-6274